

中 中学社会 地理的分野
(地理 116-72)
拡大版 [26P]
(全7分冊) ①

拡大版 [26P] (全7分冊)



中学社会 地理

的分野

日本文教出版

A4判 26P 地理



48-1

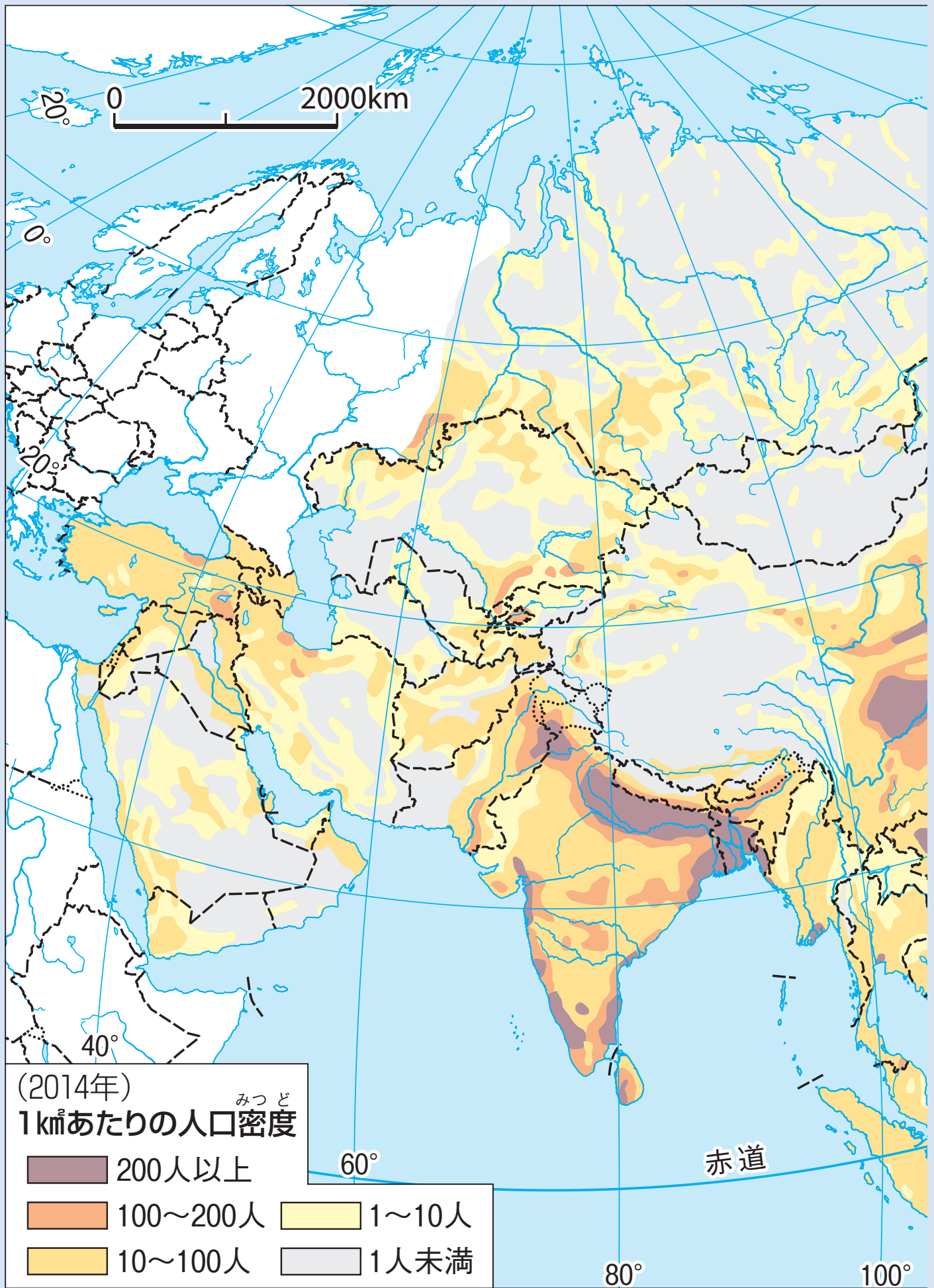
A4判 26P 地理



1 アジアの国々と地形

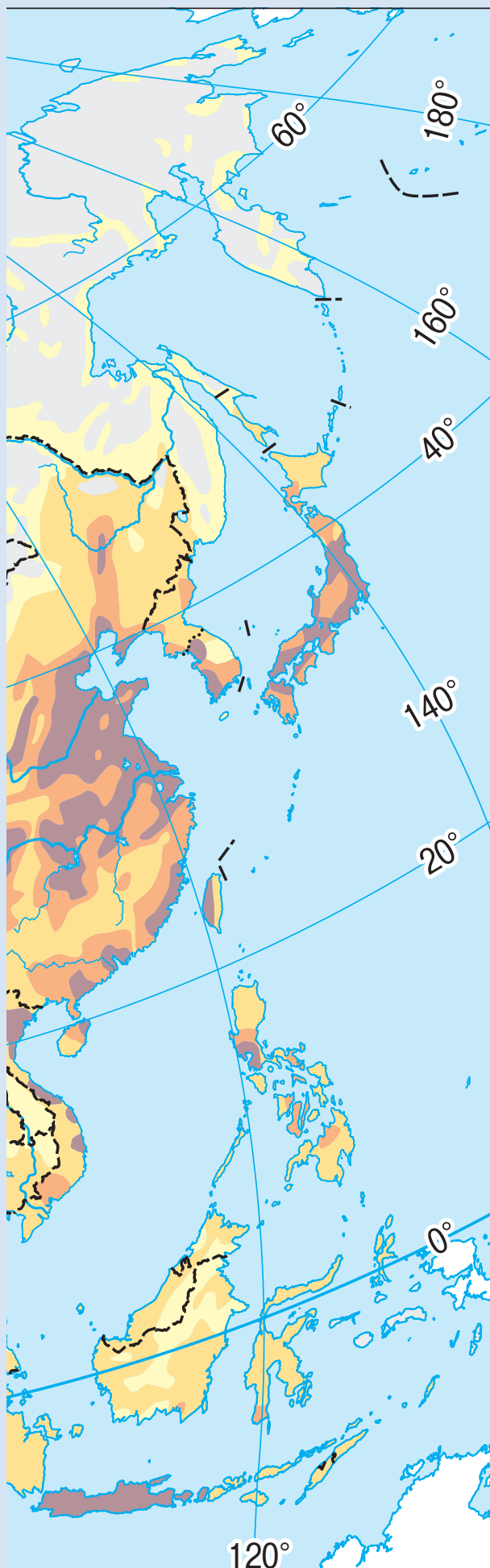
資料活用

1. 5-0 ページの 4 を見ながら、1 でアジアのなかの細かい地域区分の境界線をなぞりましょう。
2. 1 2 を見て、人口密度が高い地域の地形の特色を話し合いましょう。



48-3

A4判 26P 地理



2 アジアの人口密度（「ディ みつど ルケ世界地図帳」 2018年）



1 アジアの自然環境^{かんきょう}と人々の かかわり

! 学習課題



アジアの自然環境や人々の生活には、どのような特色がみられるのでしょうか。



🔍 見方・考え方

🌐 人と自然とのかかわり

地形や気候、人口の分布、農業^{ち い き}地域の広がりなどに着目しましょう。

変化に富む自然環境^{かんきょう}

アジアはユーラシア大陸の広い範囲^{はん い}を占めています [1]。アジアの太平洋沿岸^{たいへいようえんがん}には、日本列島やフィリピン^{しよとう}諸島など、多くの島々がつらなっています。また、インドシナ半

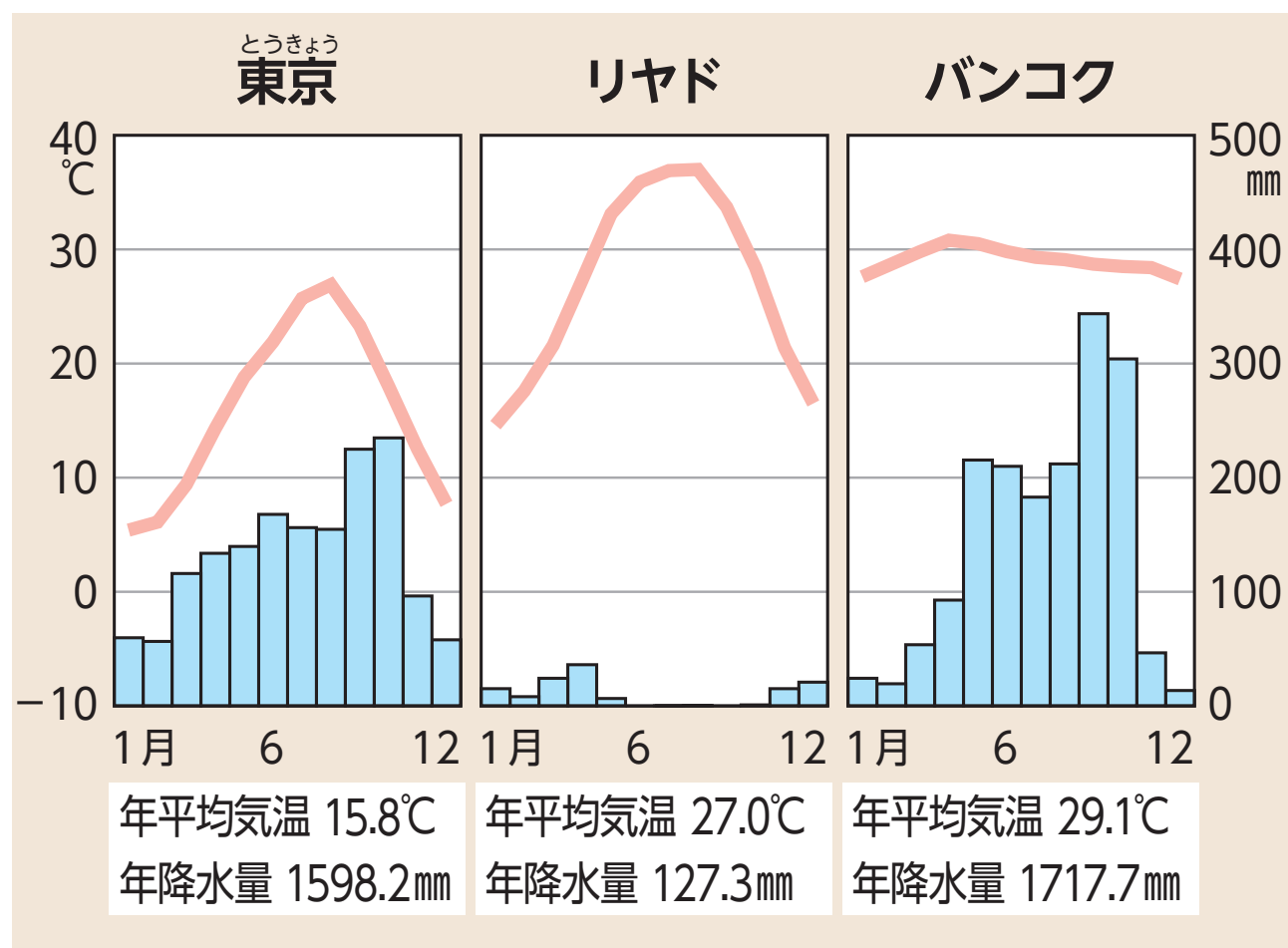
島からヨーロッパにかけて、大きな山脈や高原が続いています。標高8000mをこえるヒマラヤ山脈（^{さんみやく}⇒ 47-0 ページ 4）とその北側に広がるチベット高原は、「世界の屋根」とよばれる高山^{ちいき}地域です。この地域からは大きな河川が流れ出し、下流には平野が広がっています。一方、アジアの北部は^{ひかくてき}比較的なだらかな地形で、シベリア西部から中央アジアには低地が広がっています。

アジアには、南から順に、熱帯気候、温帯気候、冷帯（^{あかんたい}亜寒帯）気候、寒帯気候が分布しています 3。アジアの東部から南部では、夏と冬で風向きが変わる^{きせつふう}季節風（モンスーン）（⇒ 298-0 ページ）がふきます。インドシナ半島や南アジアでは、夏には海から陸に^{しめ}湿った季節風がふいて^{うき}雨季になり、

冬には陸から海に^{かわ}乾いた季節風がふいて^{かん}乾^き季になります(➡ 47-0 ページ 7)。季節風の^{えいきょう}影響を受けにくい東アジアの内陸部や中央アジア、西アジアは、^{こうすいりょう}降水量が少ない^{かんそうたい}乾燥帯気候です。



重ね合わせ



③ アジア各地の雨温図(「理科年表」 2022年)

資料活用 28-0 ページの 1 を見て、アジアの気候区分と、③の三つの都市の位置を確認しましょう。

48-7

49-1

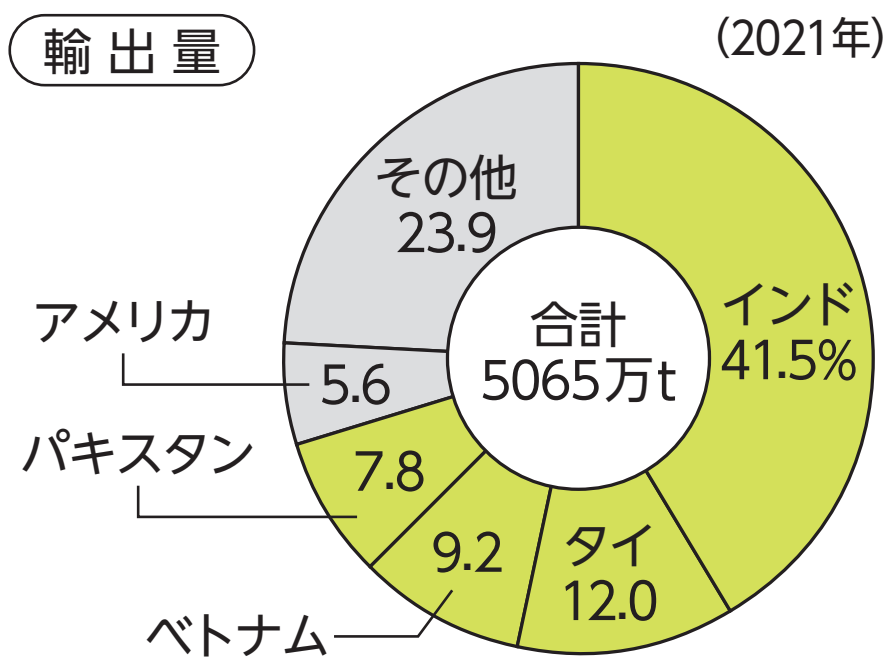
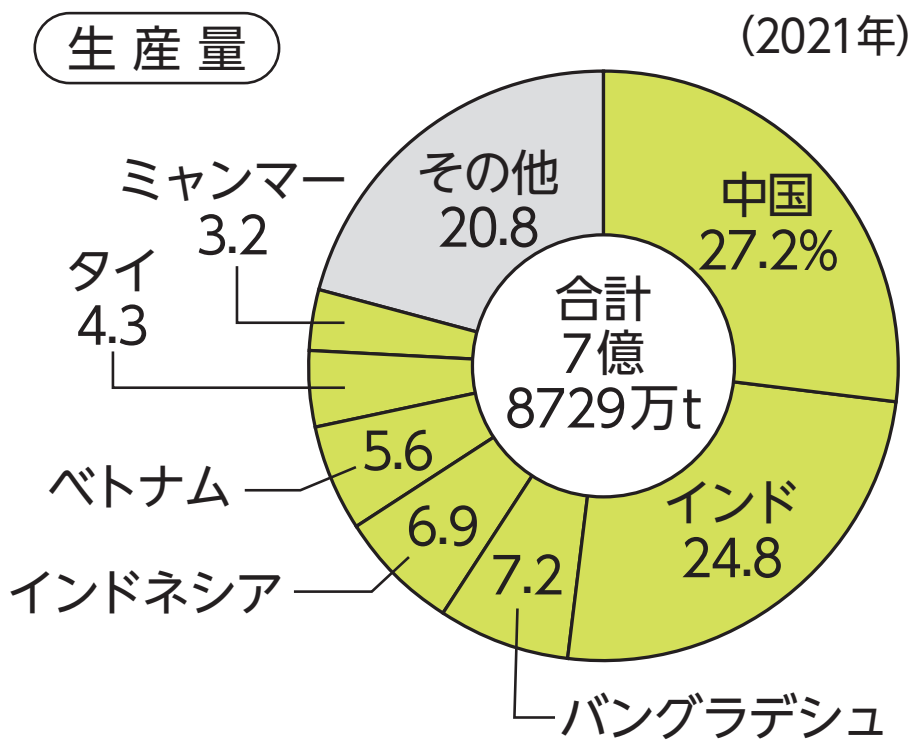
A4判 26P 地理

統計資料を活用する③

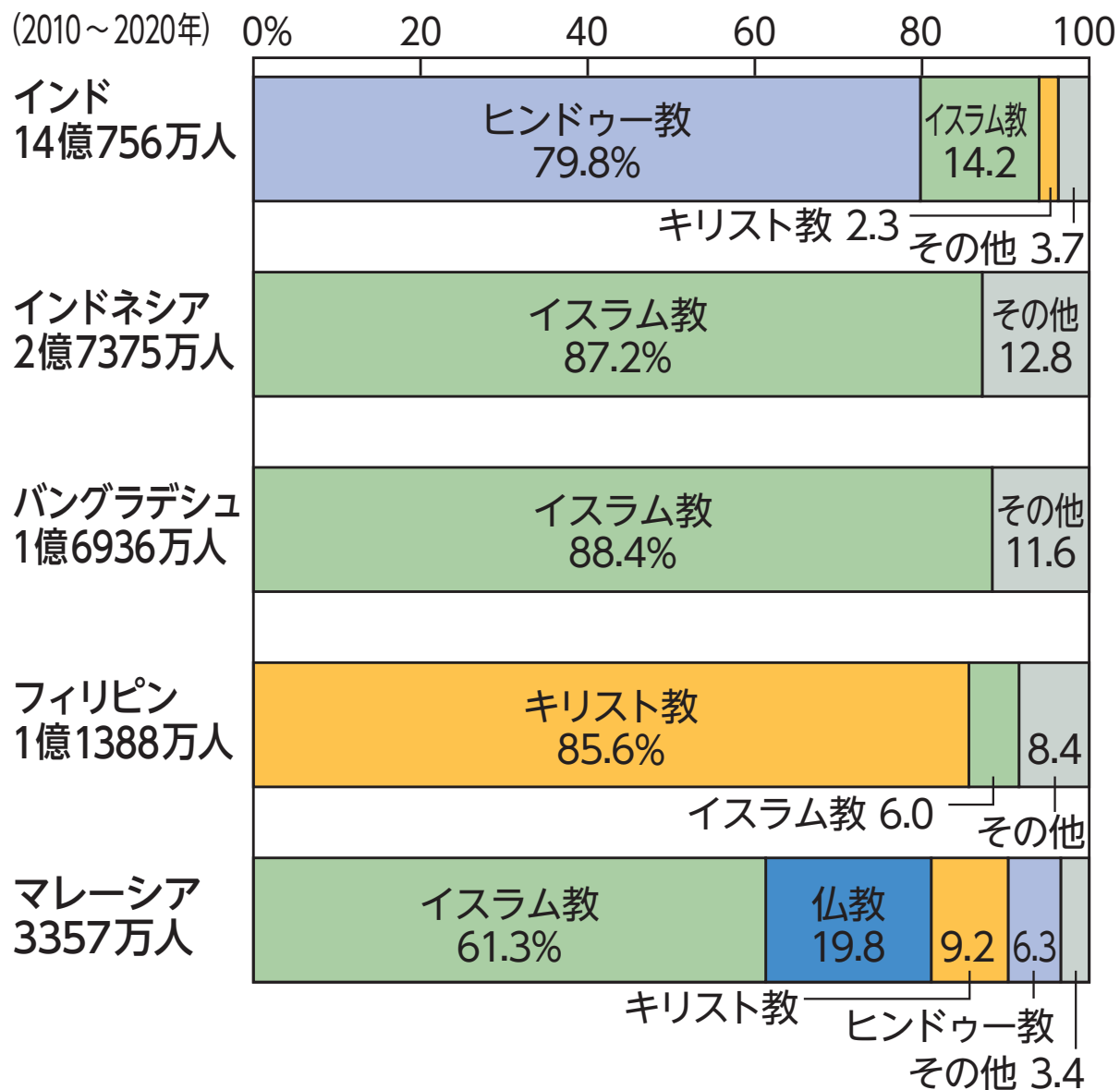
グラフの読み取り方①

円グラフ、帯グラフは、割合を示すグラフです。何の割合を示したグラフなのか、タイトルで^{かくにん}確認しましょう。④には世界の合計量と国別の割合(%)が、⑤には各国の総人口と^{しゅうきょう}宗教別の割合(%)が書かれています。

複数のグラフを比べることで、さまざまな特色を読み取ることができます。④では、生産量の多い国と輸出量の多い国がちがっています。なぜ、生産量が多いのに輸出量が少ない国があるのでしょうか。



4 米の国別生産量と輸出量 (FAOSTAT)



5 アジアの主な国の宗教別人口割合

(The World Factbook)

巨大な人口と多様な文化

アジアには日本のような^{せんしんこく}先進国(➡301-0
ページ)のほか、多くの^{はってんとじょうこく}発展途上国(➡
301-0ページ)があります。世界の人口の
約6割にあたる45億人以上が住んでいます。
東アジアから南アジアにかけての平野部で
は、人口^{みつど}密度が高くなっています2。西ア
ジアや中央アジアなどの乾燥した地域では、
人口密度が低くなっています。

古くから文明の発達した中国とインドは、
周辺の文化に影響をあたえてきました。中
国、日本、^{かんこく}韓国など東アジアの国々には、
漢字を使う、米を主食にするなど、共通の
文化があります6。仏教はインドでおこり、
中国を経由して日本に伝わりました。バン

グラデシュやインドネシアでは、多くの
人々がイスラム教を^{しんこう}信仰しています。

^{さか}盛んな農業と工業化による^{けいざいはってん}経済発展

降水量の多い東アジアから南アジアでは、
^{いなさく}稲作が盛んです。世界の米の多くがアジア
で作られています。東アジアの北部など、
降水量の比較的少ない地域では^{はたさく}畑作が盛ん
で、小麦やとうもろこしなどが^{さいばい}栽培されて
います。乾燥した西アジアや中央アジアで
は、羊やらくだなどを飼育して^{ちち}乳や肉を食
料とする^{ぼくちく}牧畜が行われています **7**。アジア
では、日本や中国など、東アジアから工業
が盛んになり、経済が急速に発展しました。
発展途上国でも ^{しゅうにゅう}収入が増えて、都市部で
は先進国と同じような生活を送る人々も多

くなっています。



6 ^{はし}箸を使う韓国の食事(2013年 韓国)



7 羊の牧畜(2021年 シリア)

49-7

A4判 26P 地理



アジアの地形・気候・人口の特色を、本文から
ぬき出しましょう。



主な山脈や川の分布、気候の分布を白地図にま
とめましょう。



1 ^{たいわん} ^{きぎょう} 台湾の企業が中国に作ったスマートフォンの
工場(2021年 中国／ホーナン省)

52-1

A4判 26P 地理



東アジアの国の工業は、私たちの生活にどのような影^{えい}響^{きょう}をあたえているのかな。



2 世界への輸出による^{けいざいはってん}経済発展 ー東アジアー

! 学習課題



東アジアの国々は、どのようにして急速な経済発展を進めることができたのでしょうか。



🔍 見方・考え方

④ 地域どうしのつながり

^{ちんぎん}賃金が安くて豊富な労働力や国の^{せいさく}政策、外国企業とのかかわりに着目しましょう。

東アジアの工業化と経済発展

日本の家電^{りょうはんてん}量販店で販売されている製品には、^{かんこく}韓国や中国などで製造されたものが少なくありません①。東アジアの国々は、もともとは農業が経済の中心でした。20

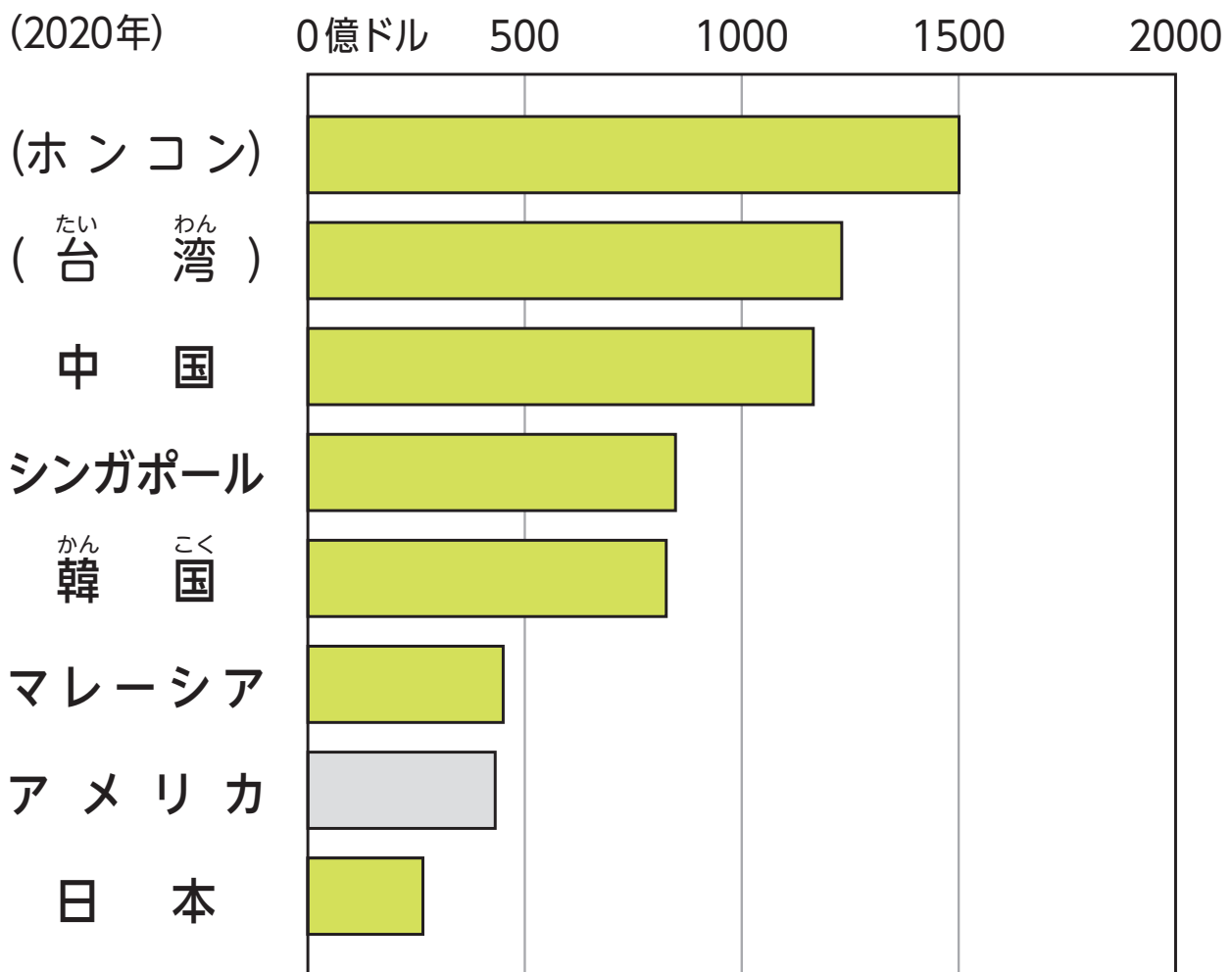
世紀に入ると、日本でまず工業が^{さか}盛んになりました。続いて、韓国、^{たいわん}台湾、中国などで工業が成長しました(➡ 51-0 ページ 4)。

経済が発展した韓国と台湾

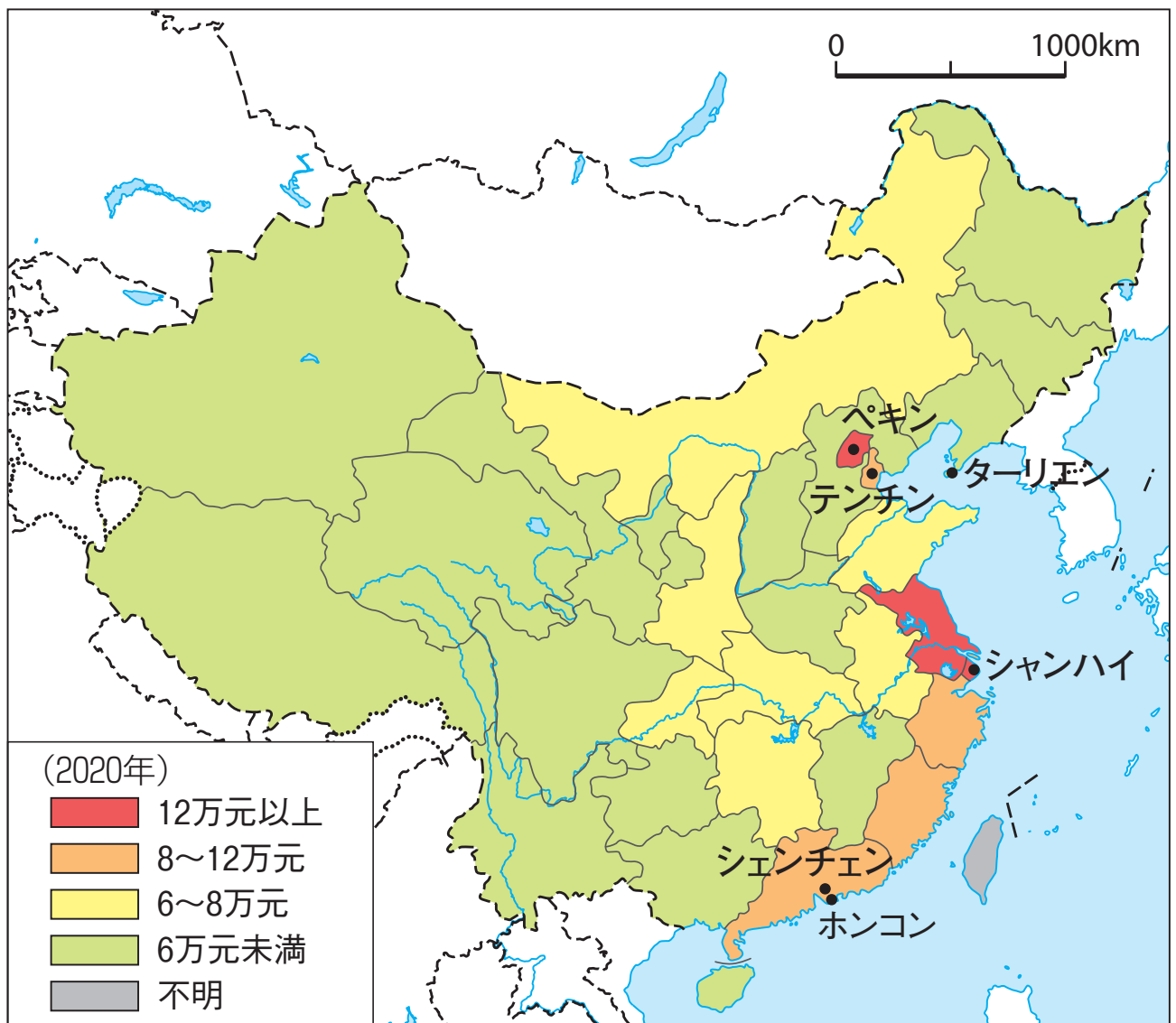
韓国も台湾も、日本と同じように^{し げん}鉱産資源にはめぐまれていません。しかし、^{ちんぎん}賃金の安さを生かして^{せん い}繊維工業や機械工業を成長させました。韓国や台湾では、^{き ぎょう}大企業の競争力を強くする^{せいさく}政策や、輸出産業を支える政策が成功しました。現在は、^{せんたん ぎ}先端技術(ハイテク)(➡ 299-0 ページ)^{さんぎょう}産業が盛んになっています 2。

韓国は、^{こうわん}港湾や空港の整備に力を入れたことで、東アジアの国際的な貿易や交通の中心地の一つになりました。一方、経済発

展によって首都のソウルに人口が集中し、
農村部では過疎化^{かそ}が問題になっています。
また、少子高齡化^{こうれい}も進んでいます。



② IC(集積回路)の輸出額(UN Comtrade)



③ 中国の1人あたりの地域別総生産（「中国統計年鑑」2021年） **資料活用** 1人あたりの地域別総生産が多い地域はどのようなところに分布しているか、読み取りましょう。



④ 子どもに関する政策を示す看板^{かんばん} (2017年中国／スーチョワン省)  **資料活用** 看板に書かれている漢字から、文章の意味を考えましょう。

中国の人口の約9割^{わり}は漢民族^{かん}で、主に沿岸部の大都市や平野部に住んでいます。約1割は55の少数民族で、主に内陸部に住んでいます。中国を出て外国で生活する人も多く、

世界各地に移住した中国^{けい}系の人々を華人^{かじん}とよびます。

中国では人口増加をおさえるために、1組の夫婦がもつ子どもの人数を1人に制限する一人っ子政策がとられていました。しかし、子どもの数をおさえたことから急速な少子高齢化が進んだため、この政策は廃止^{はいし}されました⁴。



中国で会社を営む

さわ だ 澤田さんの話



私の会社は、中国での事業^{かくだい}拡大をめざして、2005年に中国の北東部にあるターリエンに進出しました。ターリエンには、第二次世界大戦の前から多くの日本人が住んでいました。そのせいもあって日本とのつながりが強く、日本語を話せる人もたくさんいます。夏は^{すず}涼しく、^{こうすいりょう}降水量も少ないので、シャanghaiやコワンチョウなどに住む人々が^{べっそう}別荘を^{こうにゅう}購入しています。以前は重工業が盛んでしたが、近年はハイテク産業が成長しています。

急速に成長した中国の工業

中国では1970年代末以降、国内企業の自主的な活動が認められるようになりました。
沿岸部では、外国企業をよい条件で受け入れる**経済特区**などがつくられて外国企業の進出が進み、工業が**急激**に成長しました。
衣類からハイテク製品まで、さまざまな工業製品を作る中国は、「世界の工場」とよばれるようになりました。現在では、高度なハイテク製品の研究開発や販売で、アメリカとならんで世界をリードしています。

経済発展にともなう中国の課題

中国には、約14億人もの人々が生活しています。工業の成長にともなって急速な経済

発展をとげた中国は、大量の商品を買ってくれる巨大な市場として、世界の経済にとって重要な存在となっています。

現在、中国の^{こく ない そう せい さん}国内総生産(GDP) (➡
301-0 ページ)は世界第2位です。経済発展が進んだ沿岸部や都市部 (➡ 50-0 ページ)では、人々の生活が豊かになりました。一方で、内陸部や農村部では、農業を中心にした生活が続いている^{ち い き}地域も多くなっています。国のなかで経済格差が広がった 3
ことから、発展の^{おく}遅れている内陸部や農村部から、豊かな沿岸部や都市部に向けて、多くの人が出かせぎに行ったり、許可なく移り住もうとしたりしています。そのため、特に都市部では交通や^{じゅうたく}住宅の整備が追いつかず、交通^{じゅうたい}渋滞や大気^{お せん}汚染などの^{かんきょう}環境

問題も発生しています。こうした都市問題^{としもんだい}への取り組みが、中国にとって大きな課題となっています。

確認

中国の工業がどのように発展し、どのような課題があるか、本文からぬき出しましょう。

表現

東アジアの国々で経済が発展した理由と、経済発展にともなう課題を説明しましょう。